

I 教育目標	
<p>人権尊重の精神に基づき、国際的視野に立った人間性豊かな生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく考えすすんで学ぶ生徒 ○思いやりがあり協力する生徒 ○ねばり強く努力する生徒 ○健康で明るい生徒 	

II 経営方針	
目指す学校像	<p>「生徒・教職員に笑顔あふれる東陽中」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人一人が学校生活を楽しいとすることができる学校 ○生徒一人一人が大切にされる魅力ある学校 ○生徒と教師が信頼関係を基盤に一体となって進む活力のある学校 ○生徒が自慢でき、卒業生が誇れる学校 ○保護者から信頼され、地域と共に生徒を育てる学校
目指す児童（生徒）像	<ul style="list-style-type: none"> ○自立して学び、考え、判断し、行動できる、個性と想像力豊かな生徒 ○自他の人権を尊重し、人としての思いやりや道徳心のある生徒 ○基礎的な体力を身に付け、自分の体を大切にする、心身ともに健康な生徒 ○何事にも前向きに意欲的に取り組み、努力する生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○「チーム東陽中」として組織的に職務を遂行し、組織目標の達成に向けて一致協力する教職員 ○教育公務員としての自覚をもち、責任をもって職務の遂行に努める教職員 ○生徒のことを第一に考える教職員 ○学校経営への参画意識をもって職務に専念する教職員 ○自ら研修に励み、自己の資質・能力の向上に努める教職員
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ○東陽中学校の教育活動は、「知」「徳」「体」の調和のとれた人間を育成することを主眼とし、本校教育目標の達成に取り組む。 ○新学習指導要領の全面実施3年目となる。その趣旨にそった授業を常に見直し、生徒が主体的に学習できるよう授業改善・改革に取り組み、生徒に学ぶ喜びや楽しさを実感させる新しい授業スタイルを確立する。また、研修を通し教員の授業力を向上させ、学力の向上へとつなげる。評価についても常に見直し、3観点に基づく適正かつ信頼される評価を行い、客観性と信頼性を高めながら、指導と評価の一体化を図る。 ○教師が互いに理解しあう、学びあう、切磋琢磨する関係や雰囲気をつくり、教師としての使命感をもって職務に励ませる。そして、一人一台の端末活用等により生徒の学習意欲を喚起し、主体的に考え、判断し、表現し、行動すできる、自他の生き方を尊重し、責任を果たすことができる生徒の育成を目指す。 ○全教職員が常に学校経営への参画意識をもち、「学力向上」「学びの質」「心身の成長」「安全・安心な学校」を生徒・保護者に保証する。 ○生徒一人一人を大切にし、保護者、地域と学校との協働体制を構築し、信頼される学校をつくる。また、生徒から相談しやすい体制を確立し、相談体制の充実を図るとともに、真の生徒に寄り添った指導を展開する。

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		学力の向上
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた、生徒が主体的に学習に取り組む授業を実践し、生徒の学力を確実に向上させる学習システムを確立する。 ・こうとう学びスタンダード～ネクストステージ～の定着を図る。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年全教員が一丸となって取り組んだ「生徒が主体的に学習し、深い学びを進められる授業への改革・改善」を継続し、このような授業スタイルを作り上げ、生徒にとってわかりやすい授業を実践する。そして、学ぶ楽しさや喜びを味わわせる。 ・指導と評価の一体化の実現に取り組み、妥当性、信頼性のある評価とする。 ・こうとう学びスタンダード～ネクストステージ～を確実に定着させる。 ・学び方スタンダードの徹底により授業規律を確立する。 ・一人一台の端末を学習に活用する取組を推進する。 ・各学力調査の分析と考察をもとにした各教科における指導上の課題を明確にし、それを生かした授業改善プランを作成させ、改善させる。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	<p>生徒が主体的に学習し、深い学びを進められる授業への改革・改善を継続し、このスタイルを作り上げる。</p> <p>生徒にとってわかりやすい授業、生徒がかがやく授業、生徒が学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業を実践する。</p>	<p>生徒による授業評価アンケートで各教科の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容がよくわかった ・わかる楽しさを感じられた <p>の質問に対する肯定的回答 $\geq 85\%$</p> <p>学校評価アンケートにおける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい授業 ・基礎、基本が身についている <p style="text-align: right;">$A + B \geq 85\%$</p>
2	<p>学校の教育活動全体でタブレット端末やICT機器の活用を一層推進する。</p> <p>また、活用においては生徒にルールやモラルを大切にさせる。</p>	<p>学校評価アンケートにおける</p> <p>授業等でChromebookを使うことによる学習効果や学習意欲の高まりに対する肯定的回答 $\geq 80\%$</p> <p>こうとう学びスタンダードアンケートにおける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Chromebookを使った学習は楽しい ・Chromebookを使った学習はわかりやすい ・Chromebookを使用する際にはルールを守っているか <p>に対する肯定的回答 $\geq 85\%$</p>
3	<p>こうとう学びスタンダード～ネクストステージ～の定着と、常にこうとう学び方スタンダード8項目を意識した取り組みを実践する。</p>	<p>こうとう学びスタンダード定着度調査結果 \geq 区平均</p> <p>学校評価アンケートにおける</p> <p>学び方スタンダードの8項目を守っているに対する肯定的回答 $\geq 75\%$</p> <p>こうとう学びスタンダードアンケートにおける</p> <p>学び方アンケート8項目の結果に対する肯定的回答 $\geq 80\%$</p>

重点領域 2		豊かな心の育成
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が安心・安全に生活でき、満足して一日を終えられるような学校とする。 ・いじめの根絶や、問題行動を許さない学校とする。 ・自他の生命を尊重させ、規範意識や正義感を高める。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの根絶に向け、いじめはいけないことだという意識を向上させる。 ・道徳授業を確保するとともに常に改善・改革、工夫し、人を思いやる気持ちを大切にしている生徒を育成する。 ・社会の変化により、様々な不安や困り感を抱えている生徒も多いと考える。そのような生徒へ真の寄り添った指導を展開し、適切な支援を行うとともに、自己肯定感を高めるよう取り組む。また、この取組を不登校生徒への支援の一取組とする。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	いじめや問題行動のない、全生徒が安全で安心して学校生活を送れ、満足して下校していく東陽中とする。 問題行動への適切な指導、いじめ防止や早期解決、不登校生徒への支援や不登校を出さない態勢づくりに全教職員で取り組む。	不登校生徒の出現率 $\leq 5\%$ こうとう学びスタンダードアンケートにおけるいじめはどんな理由があってもいけないに対する肯定的回答 $\geq 85\%$ 学校評価アンケートにおけるいじめなどの困ったときの対応 $A+B \geq 80\%$
2	学級や学年、生徒会活動において生徒に役割を与え、その役割の責任を果たすことにより、自己有用感を高める指導を展開する教員を100%とする。	学級や学年、生徒会の委員会活動、部活動等で自身の役割や責任を果たし、貢献していると思う生徒の割合を68%以上とする
3	全教員による不安や困り感を抱えている生徒へ真の寄り添った指導を展開し、適切な支援、指導を行う。また、SC、SSWを有効に活用する。	学校評価アンケートにおける <ul style="list-style-type: none"> ・教員の生徒理解 ・困ったときの迅速な対応 ・相談しやすい体制 $A+B \geq 80\%$

重点領域 3		体力の向上と健康な生活
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に親しむ習慣と意欲を育成する。 ・生活における具体的な健康の問題に適切に対処し、健康な生活が実践できる力を育成する。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業、体育的行事、部活動に意欲的に取り組み、体を動かす楽しさや大切さに気づき、自ら進んで運動をする習慣を育成し、人生100年時代に向け健康寿命を伸ばし、健康で幸福に生き続ける意識をもたせ実践する力を養う。 ・スポーツ・運動がもたらす生活習慣病の予防、メンタルヘルスや生活の質の改善等の効果について学習するとともに、学校生活の中で運動に取り組める環境作りを進める。 ・がん教育や、薬物乱用防止教室等を通じ、健康に関する正しい知識を身に付けることや、その活動を通じて自主的に健康な生活を実践できる資質や能力を育成する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	保健体育科の授業で運動することの良さや楽しさを実感させ、生涯にわたり運動を続ける気持ちをもたせる。 また、生徒一人一人に体力が向上したことを実感させる。	こうとう学びスタンダードアンケートにおける <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業は好きか ・保健体育の授業で前よりできるようになったことがある ・ウオームアップタイムに積極的に取り組む に対する肯定的回答 各 $\geq 80\%$
2	瀬立モニカ選手の講演「心の教育授業～折れないココロのつくりかた～」や、がん教育、薬物乱用防止教室、生活習慣病の予防、メンタルヘルス等健康教育に積極的に取り組む教職員を100%とする。	各講演、講習、教室実施後の生徒アンケートにより考察する。

重点領域 4		周年行事の成功と信頼される学校・地域との連携
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、PTAとともに準備を進めてきた周年行事が成功するよう一年を通して取り組む。この取組を進める中で地域、保護者との連携を深める。 ・学校情報の適切かつ定期的な発信と、地域に開かれた学校づくりを推進する。 ・保護者や地域から信頼される、安全・安心な学校づくりを推進する。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・11月9日に行う東陽中学校開校40周年記念式典の成功に向け、教職員が一丸となって取り組み、良い思い出となるような企画、運営を生徒とともに進める。祝賀会については、その運営の中心となる「周年実行委員会」に主幹教諭を中心に参加し、地域やPTAと連携を深めながら準備、企画、運営を進める。 ・東陽中だよりやホームページ、掲示板、各学年が発行する学年通信、進路通信、給食や保健だよりを活用した広報活動を継続し、学校の状況や生徒の活躍を各家庭や地域へ発信する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	年度当初に校内周年組織を示し、3名の主幹教諭を各委員長とし、周年行事に向けて組織的に取り組ませ、生徒がかがやき、思い出に残る有意義な周年行事とする。	周年行事終了後の生徒アンケートにより考察する。
2	全教職員で情報発信に努めるとともに、その情報が伝わるよう発信の仕方を工夫する。 学校からの様々な情報発信について、生徒には学活で、PTAへは実行委員会で、地域へは教職員が出席する会合等で宣伝する。	学校評価アンケートにおける <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信 $A+B \geq 85\%$ ・学校が発信するプリントなどを読んでいる $A+B \geq 65\%$